回答書

なまはげ文化魅力発信業務に係る公募型プロポーザルに関する質問について、次のとおり回答いたします。

No.	質問項目	質問内容	回答
1	実施要領 8 参加表明書類の提出期限、提出場所及び方法等	参加表明書類の提出にあたり、類似業務の実施実績は必須条件でしょうか。	必須条件ではありません。
2	仕様書 3 委託期間	委託期間について、看板デザインの詳細納品がR7.12.26までに設定されている意図・背景をお伺いしたいです。	このデザインを活用し、今後、年度内に対象区域内の商店などが、周遊ルートや歓迎の意味をもって、店先に統一されたデザインを掲げます。
3	仕様書6-(2)-①	既存のなまはげ像2体の現状（損傷具合、材質等）の詳細情報はございますでしょうか。	設置から12年が経過しています。大きな損傷はありませんが、全体的に塗装の剥がれがあります。材質については、設置当時の資料がなく、詳細な情報はございません。
4	仕様書6-(2)-②	活用可能なシャッターの候補地はありますか。また、既存店舗のシャッター利用に関わる建物所有者様との交渉は市が主導していただけますか。	候補地として検討している箇所はありますが、建物所有者との交渉は受託事業者で行っていただきます。
5	仕様書6-(2)-②	シャッターアート制作の空き店舗5箇所の目星はございますでしょうか。それとも受託者側でゼロから店舗側と交渉するという認識でしょうか。	NO.4 回答参照。

No.	質問項目	質問内容	回答
6	仕様書6-(2)-③	既存の船川エリアマップのデータを活用することは可能でしょうか。具体的には、既存マップのデータを活用できるよう、観光課や商工会への声掛けにご協力いただけますか。	当方に著作権が帰属するデータであれば協議の上、使用は可能です。商工会への取り次ぎは可能です。
7	仕様書6-(2)-④	既存のさんぽみちを活用してその機能を充足させるものと考えて良いでしょうか。もしくは、新規ルートを作成することが要件となるでしょうか。	仕様書6-(2)-④に記載のとおり、新たな散歩コースの企画・設置となります。
8	仕様書6-(2)-④	当事業の受託者をプロポーザルで決めるのは今年が初めてでしょうか。もし以前にも同様のプロポーザルを実施している場合、過去それぞれの年の受託者、並びに施策の詳細な内容を教えて頂けたら幸いです。	<p>本事業は、今年単年度の事業です。ただし、昨年度は、仕様書6-(2)-④「なまはげさんぽみち」を実施しています。事業概要は、下記のとおりです。</p> <p>○ルートについて（詳細図は、なまはげ文化魅力発信業務に係る公募型プロポーザルの実施について 関係資料 別紙1-3を参照） 道の駅おが オガーレから、近藤家具、旧北都銀行を經由して稲とアガベまでの約600mです。</p> <p>○コンセプト 歩行時間15分で男鹿駅周辺県道59号線沿いの代表的な立ち寄りスポットを眺めながら回るルートとして設定しました。</p> <p>○「なまはげさんぽみち」を案内するキャラクターデザイン 回遊の起点、終点となる場所に、なまはげのキャラクターデザインをあしらった置型看板、回遊途中5カ所の電柱に案内看板を設置しました。 キャラクター設定として、パステルカラーで、デフォルメされた2体の「子どもなまはげ」のイラストをデザイン。「稲とアガベ」前に設置している、なまはげ像（仕様書6-(2)-①のなまはげ像）が「親なまはげ」となる設定。子どもなまはげが周遊ルートである「なまはげさんぽみち」を歩いて、ゴールにいる親なまはげに会いにいくとストーリー性をもって作成されたイラストとなります。</p>

No.	質問項目	質問内容	回答
9	仕様書6-(2)-④	なまはげさんぽみちの具体的な内容、設置物の詳細資料はご提供いただけますでしょうか。また本件に関しては、散歩コースを作るだけでなく、コース内に何か仕掛けを生み出すという意味合いも含まれてますでしょうか。	NO.7、NO.8 回答参照。
10	仕様書6-(2)-⑤	サインやベンチの設置候補地は地元との話し合いで決定することとありますが、歩道等にサインやベンチを設置するにあたって必要な諸手続きは市が主導していただけますか。	必要な諸手続きは、受託事業者で行っていただきます。
11	仕様書6-(2)-⑤	「サイン、ベンチ等」と「看板」と記載されていますが、それぞれの成果物について確認させてください。サインとは、R6年度事業で電柱に設置された標識のようなものを指していますか。成果物はデータではなく、道路等に固着する形式のものを指しますか。看板は、特定個別の商店（各お店）の看板デザインではなく、さんぽみちの活用を促進するための標識のような意味合いと捉えて正しいですか。その場合、サインと看板との違いが曖昧なため、両者の区別を教えてくださいたいです。	サインは、R6年度事業で電柱に設置された標識ではなく、人の行動を助ける（目的に導く）ために設置される案内・誘導表示等を指しています。また、成果物はデータではなく、構造物又はペイント表示等です。看板デザインは、今後、対象区域内の商店などが、周遊ルートや歓迎の意味をもって、統一されたデザインを掲げるためのデザインとなります。
12	仕様書6-(2)-⑤	サイン・ベンチ・看板はデータのみ納品でしょうか。それとも製作・設置までとなりますでしょうか。	サイン、ベンチ等は製作・設置。看板のデザインはデータのみとなります。
13	仕様書6-(2)-⑤	当事業におけるSNSでの発信につきまして、市としては「必須」とお考えでしょうか。	フォトスポットとしての機能やSNSによる拡散効果を意識したデザイン（SNS映え）を求めており、発信は必須ではありません。

No.	質問項目	質問内容	回答
14	仕様書6-(2)-⑤	市公式アカウント(Instagram等)との連携投稿は可能でしょうか。	本事業は、情報発信事業ではありません。
15	仕様書6-(2)-⑤	SNS発信業務の主体について、受託者が直接運用を担う想定でしょうか。それとも、市が主体となり、受託者は素材提供やアドバイスを行う形を想定されているのでしょうか。	No14 回答参照。
16	仕様書6-(2)-⑤	ベンチの仕様(サイズ)と台数をどれくらいでしょうか。	いずれも参加事業者の提案内容となります。
17	仕様書6-(2)-⑤	なまはげの看板のサイズはどれくらいでしょうか。	N011、N012 回答参照。